



第66回

生け花サークル

今から十数年前。生涯学習の一環として、町主催の華道教室が開かれました。ここで生け花の素晴らしさに魅了された参加者の有志が、教室の修了後も「お花を続けたい」と趣味の会を結成しました。これが「生け花サークル」のルーツです。

ここで十人ほどの『お弟子さん』たちに生け花を教えているのが、池坊師範の肩書きを持ち、華道教室時代の先生でもあった石川光子さんです。

定例の稽古日は、第二・第四水曜日の月二回です。町立図書館二階の和室に会員たちが集まり、先生の教えを受けながら、生け花を堪能します。

「気心の知れた仲間ばかりなので、和気あいあいとした会です。お互いに批評し合ったり、おしゃべりに花が咲いたり、とつても楽しいんですよ」と、会員の田中マリ子さん。日ごろの稽古の成果は、毎年秋に開催される町の文

化祭に自慢の作品を出展し、披露します。

また夏休みや年末年始など、季節の折々には食事会やお茶会を催し、会員同士の親睦を深め合っています。生け花の素材の生花は、高価なものから安いものまでさまざまです。しかし、会では「あまりお金をかけない」ことをモットーに安価な生花を使って、より美しく生けることを心がけています。

「豪華なお花はそれなりに見事です、たとえ庭先のお花でも生ける人の心一つで素晴らしい生け花に生まれ変わります」と代表の小峰真子さん。自ら生けた生花で自宅の玄関や床の間などを飾り、会員の皆さんは『花のある美しい生活』を満喫しています。



葉山歌壇俳壇

短歌

岡田 保子 選

◎母の手に桃割れ結いしははるかにていまたよりなき染め髪洗う 鈴木 榮子  
(評) 結句に一抹の哀感あるも、若き日に豊かな黒髪を母が結い上げてくれた桃割れ鬘。華やかな娘時代を今又憶う幸福感も伝わってきます。

初電話卒寿の姉の声若く富士の高根の雪美しと戻りて富士の高嶺はむらさきの光かがよふ雲に浮き立つ習慣の「又ね」の言葉交し合う「又」が軽々来ぬ気もしつつ砂の形移して波の引き返す変はらぬ浜はゆりかごに似るふんはりと風を孕んだカーテンが夢の中で海をつれ来ぬ日だまりの道の真中のかまきりをこわごわ摘んで枯草の上へ名美しき紫式部はやまといろ小さき珠寄せたをやかにゆるる大空を舞ひまふ鳥もグループを離れぬやうに乱さぬやうに萎えし手につかつ刻も大根のその不揃ひの純白もよし

俳句 沼田葉櫻子 選

俳句 浅井 一志 選

◎端座して百の思ひの賀状書く 近藤 礼  
(評) 年賀状の配達されるのを待つのは楽しいものである。意外な人からいただいたて懐しさと喜びを覚える。また、さまざまな思い出が走馬灯の如く湧いてくるのである。中七音の措辞がよい。

\*ポケットに俳句手帖や初日の出 石田 肇  
(評) 元日の日の出を拝むために、わざわざ海辺や山地に出かける風習がある。「歳時記」は俳人のバイブルであると言われている。と、同様に、何処へ出かけるにも国語辞典・俳句手帳などは忘れずに持参したいものである。素直でくだらない表現がよい。原句は「俳句手帖を」であったが、「を」は「や」に直しました。

\*山茶花や静かに歩みたき余生 新井かね子  
\*ほどほどを良しとする日々草紅葉 高梨 久子

\*舞殿の四方ひらきて初時雨 石川 光子  
雨だれに睡り誘はる長き夜 新谷 幸子  
玉砂利を踏みし音色や新松子 熊本 京子

◎特選 \*共選

締切は、掲載希望月の前々月末日必着。はがき1枚に、一人3首か3句まで(当季雑詠)、住所、氏名、電話番号を書いて、企画課「葉山歌壇俳壇係」まで

◎泣く子の手引いて帰る子秋の暮 米倉 久恵  
(評) 泣く子連れて帰るのは、兄か姉のどちらか。または友達かも知れないが、いづれにしても、ここには優しさがある句といえます。少子化、そして幼い子が殺される嫌な時代だが、子供の行く先には、おそろくあたたかい家の灯のまたたきがあるに違いない。

年迎ふ崩れしままの道祖神 石井富貴子  
(評) 新年の句だが、対象は崩れかかった道祖神。すなわち道を守る神様である。崩れてもう目鼻立ちが、はつきりしていないのであろう。しかし作者はそこに叔気を感じた。常と変らぬものにも、旧年から新年への変化に自らを確認しているのだから。

\*ほどほどを良しとする日々草紅葉 高梨 久子  
玲瓏と富士輝やけり初日の出 多羅 空竹  
\*舞殿の四方にひらけて初時雨 石川 光子  
\*山茶花や静かに歩みたき余生 新井かね子  
\*ポケットに俳句手帖を初日の出 石田 肇

# 語る 町長と

## トーク広場

第37回

### セネガルを緑のオアシスに！ 青年海外協力隊員の和泉知英子さん(一色) 夢に燃え、現地へ出発

ます。和泉さんの協力隊員に応募された動機を教えてください。

**和泉** 私は緑豊かな葉山に育ち、小さい頃から「将来は海外で緑化の仕事」と夢見てきました。それで大学も農学部に進み、林学を専攻しました。

ところが、卒業後は違う職種の仕事に就き、しばらく夢から遠ざかっていました。しかし、緑への思いがまた募り始め、思い切って大学の恩師に相談を持ちかけました。

実は、その時に教えられたのが青年海外協力隊で、「これなら私にぴったりと、すぐに応募しました。

**町長** 派遣先のセネガルは、最初からの希望だったのですか。

**和泉** いえ、違います。もともと「林業」の分野の募集はとも少なく、私が応募した時も、トンガとセネガルだけでした。トンガの派遣はマングローブの専門家を求めています。マングローブの知識の少ない私には難しいので自然とセネガルに決まりました。

**町長** 見ず知らずの遠い国に一人で赴くわけですが、不安はありませんか。

**和泉** 言葉が通じるか、現地の生活にうまく溶け込めるかなど正直、不安だらけです。でも、フランス語の特訓を中心に、三カ月近くみっちり長野県の駒ヶ根で合宿訓練を受けたので、自信があります。

幸い、向こうでは現地の人の家を借りて、家族と一緒に生活します。食事は、きつと真っ黒に日焼けしている



に関して、お米はあるし、魚介類も豊富で食事はおいしいそうです。向こうの生活にもすぐ慣れると思います。

**町長** 現地では主にどんな仕事をされるのですか。

**和泉** 植林です。セネガルでは、樹木が家庭の燃料用などに伐採されて緑が減り、砂漠化が進んでいます。これを防ぐためには、植林による緑の復元と普及が欠かせません。

そこで、オートバイで村々を回り、現地の人々と一緒に、成長の早いユーカリや果樹などの苗木を植えて歩きます。それが青年海外協力隊員の私の課せられた大切な使命です。

**町長** 移動はオートバイですか。大変ですね。

**和泉** ええ、四輪車ではなく、オートバイが貸与されるそうです。それで太陽きらめくアフリカの大地を飛び回るわけですから、二年後に帰国する頃は、きつと真っ黒に日焼けしている

と思います。

**町長** 派遣期間は二年間ですか。

**和泉** はい。期間が短いので、現地の人々と力を合わせ、一本でも多く植林をしたいです。そして、セネガルがいつか緑のオアシスになればいいな、と願っています。

**町長** 休暇の時は一時帰国もできるのですか。

**和泉** 帰国なんてもつたいないです。せっかく遠いセネガルへ行くわけですから、休暇がとれたら真っ先にセネガル国内をあちこち回り、現地の人と交流を深めながら、見聞を広めたいと思います。

**町長** セネガルは、世界一過酷な自動車レースと言われるパリ・ダカ(ダカールラリー)でも有名ですよ。

**和泉** そうなんです。首都のダカールがゴール地点になっていて、ラリーの際は、現地の青年海外協力隊員が、おにぎりを作り日本人選手やスタッフに差し入れるそうです。パリ・ダカが行われるのは確か一月だと思えます。今から応援を楽しみにしています。

**町長** これまでも多くの葉山出身の青年海外協力隊員が、海外で活躍されています。体に気をつけ、先輩たちに負けないよう頑張ってください。帰国したら、ぜひまた体験談を聞かせてください。

発展途上の国々を中心に、世界各地で活躍する青年海外協力隊。その一員として昨年末、一色の和泉知英子さんが、アフリカ西海岸の国・セネガルに旅立ちました。現地での主な活動は、進行する砂漠化を防ぐため、現地の人々と一緒に行う植林事業です。

そこで出発に先立ち、「セネガルを葉山のような緑いっぱいのに」と張り切る和泉さんに、国際協力を志した動機や抱負などを伺いました。

**町長** 青年海外協力隊はJICA(国際協力機構)の事業で、毎年多くの若い人たちが発展途上国に派遣されてい



## 韓国文化紹介講座



11月25日福祉文化会館で「家族愛・人間愛・愛情あふれる韓国」として李孫珠(リ・ソンジュ)さん(町民外国語サークル講師)に日韓の文化の違いや現在の状況などについてお話を伺いました。韓国のお菓子の試食もおいしかったですね。

## 生産者と消費者の集い



11月26日上山口の杉山神社周辺で生産者と消費者の集いが行われました。牧場と炭焼き工房を見学後、葉山牛と野菜の試食会、おもちゃつきを行い、生産者の皆さんと一緒に楽しみました。



## 最優秀賞「農林水産大臣賞」受賞



10月20日虎ノ門パストラル(東京都港区)で全国優良畜産経営管理技術発表会が行なわれました。町からは三留武さんが、畜産経営について「自己の経営、技術、環境対策、地域とのかかわり」を発表し、最優秀賞「農林水産大臣賞」を受賞しました。おめでとうございます。



### ◆新春特別展

#### 山口蓬春と多彩な芸能の世界 —昭和美術のアートディレクター—

1月7日(土)～3月26日(日)10時～17時  
(入館は16時30分まで) 休館日 毎週月曜日、1月10日(火)、3月22日(水)、(1月9日(月・祝)開館) 一般500円、高校生以下無料  
☎875-6094山口蓬春記念館

### ◆葉山マリンキッズリーダー募集

1月7日(土)9時30分～16時 リーダー研修「海に親しむ元気な子供づくり!」を目標に年間を通じた自然体験活動を開催 今月の内容は「ネイチャーハイク～海と川と森のつながりを知る!～」この活動をサポートしてくれる人を募集 ☎876-2287葉山マリンキッズ事務局

### ◆税理士会の無料税務相談所

1月10日、2月14日、3月14日(いずれも火曜日)、10時～16時 東京地方税理士会鎌倉支部会議室(JR鎌倉駅下車徒歩7分)、予約制(電話) ☎0467-25-5220東京地方税理士会鎌倉支部

### ◆定例ボランティア活動

1月14日(土)9時30分から 介護老人福祉施設「葉山清寿苑」どなたでもどうぞ ☎875-6734大熊(葉山町ボランティア連絡協議会)

### ◆三浦半島県下駅伝競走大会

1月15日(日)9時30分～11時30分 コース 横須賀アリーナ～葉山御用邸前～林～三崎口～野比～横須賀市立横須賀総合高校 ☎822-8493横須賀市教育委員会スポーツ課

### ◆裁判員制度

「もしもあなたが選ばれたら」上映会  
1月16日(月)14時30分～16時 横須賀市文

化会館中ホール 200人 裁判員制度について描いた映画(出演は中村雅俊、西村雅彦ほか)ハガキ、ファックスに住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号・希望人数(5人まで)・eメールアドレス(携帯メールのアドレス不可)・意見・要望を書いて、〒238-0015 横須賀市市戸台3 横浜地方検察庁横須賀支部総務課 1月6日(金)締切 ☎823-1588・FAX825-1348横浜地方検察庁横須賀支部総務課

### ◆フォーラム三浦半島

#### 「大地震・3日間どう生きぬくか? ～自ら守ろう 助けあおう～」

1月21日(土)12時～16時 ヴェルクよこすか6階ホール(京浜急行横須賀中央駅下車徒歩7分) 200人 13時30分から 基調講演 島崎邦彦さん(東京大学地震研究所教授)、パネルディスカッション 宇田川規夫さん(県災害救援ボランティア支援センター・サポートチーム代表) 12時から 市民活動団体の展示発表、非常用保存食試食など 一時保育希望は要予約 パソコン文字通訳・手話通訳あり ☎823-0210県横須賀三浦地域県政総合センター県民課

### ◆犬のしつけ教室

1月22日(日)10時～11時30分 南郷上ノ山公園 犬のしつけ教室、飼い主のマナー教室 講師 佐藤美津子さん(ヨコスカドッグスクール)  
\*飼い主の皆さん、散歩の時は犬の糞を必ず持ち帰りましょう。☎875-3492本間 875-0119三橋

### ◆ヒッポファミリークラブ説明会

英語も簡単! 秘訣は多言語 1月21日(土)14時～16時 逗子文化プラザさざなみホール 1月27日(金)18時30分～20時30分 町福祉文化会館第一集會室 ☎876-3248新井(ヒッポファミリークラブ)

### ◆山口蓬春記念館 呈茶のご案内

日本庭園の紅白梅を見ながら非公開の和室「桔梗の間」でお菓子とお抹茶を楽しめます。2月11日(土・祝)、12日(日)、11時30分～15時(お菓子が無くなり次第終了) 1服500円 各日先着50人 ☎875-6094山口蓬春記念館

### ◆知的障害者ガイドヘルパー講座

2月11日(土・祝)～3月25日(土) 湘南の凧もやい(戸狩温泉スキー場) 小学1年～高校3年生まで 30人 小学生30,000円 中学生以上38,000円 2月17日(金)締切 ☎875-0046高木(葉山町スキー協会)

### ◆葉山ジュニアスキー・スノーボードスクール2006

3月24日(金)～27日(月)四季彩の宿 かのえ(戸狩温泉スキー場) 小学1年～高校3年生まで 30人 小学生30,000円 中学生以上38,000円 2月17日(金)締切 ☎875-0046高木(葉山町スキー協会)

### ◆小学生～高校生のための春休み国際交流事業

【国内】3月28日(火)～4月4日(火) 鹿児島県大島郡与論町 小学2年～6年生 400人 3月7日(火)締切 【海外】3月25日(土)～4月6日(木) アメリカ、イギリスなど 小学3年～高校3年生 2月3日(金)締切 ☎03-3359-8421(財)国際青少年研修協会

### ◆平成18年度県政モニター募集

県内に住んで、平成18年4月1日現在、満20歳以上で年間を通じて活動ができる人(日本語のできる外国籍の人を含む)ただし、国、地方公共団体の常勤の公務員、公職選挙法による公職にある人、平成16・17年度の県政モニター経験者は応募は不可 400人(郵送コース200人、インターネットコース200人) 任期 平成18年4月～19年3月末 県政に関するテーマアンケートの回答(6回程度)、会議への出席(2回程度)など 謝礼 記念品(図書カード)報酬・交通費の支給なし 応募用紙・要項は県庁、各地域県政総合センター、役場窓口などで配布、ホームページからの応募も可  
(http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/kohokenmin/shumoni/index8.htm)  
☎045-210-1111(内線3669～3671) 県広報県民課 集会・モニター班

掲載を希望するときは、掲載したい月の前々月末日正午までに、企画課(☎内線333)へお電話ください。営利目的のもの、宗教・政治色の強いものは掲載できません。